

芝山遺跡（城陽市）

芝山遺跡は、木津川右岸の丘陵上に位置する遺跡です。近年、新名神高速道路の建設に伴い発掘調査を続けています。平成28～29年度の調査では、古墳時代の一辺9～11mの方墳や直径10～26mの円墳など合計8基が見つかりました。墳丘は、大きく削られていたため、発掘調査前に古墳があることは分かりませんでした。調査では、埋葬施設と周溝が見つかり、副葬品として鏡や勾玉などが納められていました。



▲ 新たに見つかった低い墳丘の方墳2基



▲ デフォルメされた獣形があざやかな古墳時代の鏡

発掘調査で見つかった古墳以外にも墳丘の低い古墳が周辺に存在することが考えられます。直径9.5cmの小さな鏡ですが、当時、鏡は権威の象徴と考えられていたので、これを持っていた人は、この地域の有力者と考えられます。



遺物が語る京都の歴史

京都府暫定登録文化財 案（京丹後市古殿遺跡）

宗教的な儀礼で使う祭器は、直接地面には置かず、「案」などの上に置かれました。脚の形などは今にも通じるデザインに驚かされます。中国や朝鮮半島でも出土しています。（昭和57年、当調査研究センターの調査により出土しました。）



全長：73cm、全幅：42.2cm、全高：31.5cm

発掘調査

よもやまばなし

ガリと手スコ

発掘調査では地面を丁寧に削り、土の色と質の違いから遺構の輪郭をみつけます。ガリは地面をミリ単位で削るのに適しており、手スコは遺構の輪郭を地面に描いたり、遺構を掘ったりするのに適しています。発掘調査には欠かせない道具です。



【発行日】平成30年1月

【編集・発行】

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番の3
<http://www.kyotofu-maibun.or.jp>



もっと知りたい

京都の遺跡

創刊号

古墳は語る！

上空からみた私市円山古墳
（1988年 当調査研究センター調査）

巨大古墳はなぜ造られたのか!?

～丹後・丹波・山城の首長墳～

京都府は、ヤマト政権の拠点である大和に隣接する山城地域、日本海に面した丹後地域、そして畿内と日本海を結ぶ交通の要所であった丹波地域に分けることができます。それぞれの地域がヤマト政権にとって重要な役割を持っていました。各地域の巨大古墳をみていきましょう！



倭の五王をささえた首長 ～久津川車塚古墳（国史跡）～

山城地域は、ヤマト政権の拠点である大和に近く、北陸道や山陰道へ至るルートとして重要な地域でした。久津川車塚古墳は、全長 180m を測り、当時の山城地域ではもっとも大きな前方後円墳です。ちょうど倭の五王の時代にあたります。このころ、倭国を治めた大王は、兵庫県から運ばれた^{おおきみ}竜山石と呼ばれる凝灰岩でつくられた長持形石棺たつやまいしを使っていました。久津川車塚古墳でも同じ竜山石製の長持形石棺が出土しており、ヤマト政権との強い結びつきがうかがわれます。

上：見つかった長持形石棺は、京都大学総合博物館にて展示しています。
(京都大学総合博物館提供) 重要文化財。
下：市街地の中の久津川車塚古墳。史跡整備のために発掘調査を行っています。(城陽市教育委員会提供)

詳しくはこちら
http://www.kyoto-be.ne.jp/joyou-be/cms/?page_id=143



由良川流域を一带を治めた首長 ～私市円山古墳（国史跡）～

私市円山古墳は全長 81m を測る造り出しをもつ円墳です。

この古墳には、3基の埋葬施設があり、その1つから^{よろい かぶと}甲や冑などの武具や剣、刀などの武器が数多く副葬されたことから、被葬者は武人と考えられます。この古墳には、眼下に広がる由良川とその周辺に広がる平野部を治めた首長が埋葬されたと考えられています。

由良川流域には巨大な前方後円墳が見られないという特色があります。軍事行動を担うことによって、ヤマト政権と関わりをもった在地の首長が巨大な円墳を築造したと考えられます。

現在、私市円山古墳は、表面に敷かれた^{ふきいし}葺石や^{はにわ}埴輪などが築造当時の姿に復元整備されています。

◀ 築造当時の姿に復元された古墳。ぜひ、ご見学を！
(綾部市教育委員会提供)

詳しくはこちら
<http://www.city.ayabe.lg.jp/kyoiku/kanko/index.html>



推定される古墳時代の海

網野銚子山古墳

▲ 古墳の頂上から日本海を眺めてみよう。(京丹後市教育委員会提供)

海上活動の中心だった首長

～網野銚子山古墳（国史跡）～

目の前に広がる市街地は、古墳時代には海で、網野銚子山古墳は、海岸沿いに造られました。全長約 200m の日本海側最大の古墳です。

現在の古墳は、木々が生い茂る山のようなのですが、築造当初の古墳は葺石におおわれ、灰色の巨大な構造物に見えました。日本海を行き交う人々は船上から巨大な前方後円墳を眺めたのでしょうか。

網野銚子山古墳は、当時、東アジアでの不安定な国際情勢下でヤマト政権の対外交流に関与した丹後地域の首長墓と考えられます。

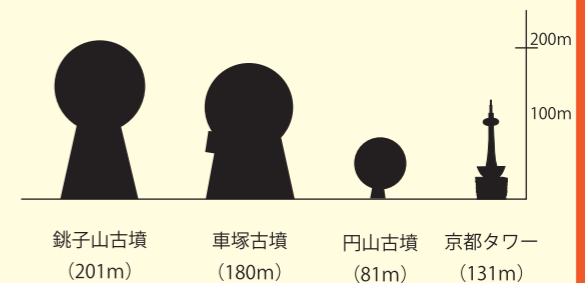
詳しくはこちら
<http://www.city.kyotango.lg.jp/index.html>



古墳の大きさを比べてみると!?

3基の古墳を京都タワーと比較してみました。

当時、100mを超える規模の古墳を造ることができるのは、限られた首長でした。



ここで取り上げた3つの古墳は国史跡に指定されています。



◀ 私市円山古墳は、高速道路の建設に伴う発掘調査によって発見されました。丹波地域を代表する古墳であることから、古墳の下に高速道路を通すトンネル工法に変更され、保存されました。
(綾部市教育委員会提供)



近代	江戸時代
中世	安土桃山時代
	戦国時代
	室町時代
古代	南北朝時代
	鎌倉時代
	平安時代
古墳時代	奈良時代
	飛鳥時代
	後期
弥生時代	中期
	前期
	晩期
縄文時代	後期
	中期
	前期
	早期
旧石器時代	草創期